

令和5年度知財セミナーワークショップ開催事業 報告④

## カーボンニュートラル動向最前線と特許検索セミナー in福井県 ～水素技術の利活用を含めて～

(令和5年11月13日実施)

カーボンニュートラル動向最前線と関連技術の特許情報検索・活用方法をテーマに、3名の講師（丸田 昭輝氏、藤本 峰雄氏、田中 志帆里氏）をお招きし、セミナーを開催しました。

講演1では、株式会社テクノバ 研究部の丸田氏ならびに藤本氏が、カーボンニュートラルの最新動向について解説しました。前半、藤本氏から、脱炭素社会に関する基礎知識や、国内外での動向、脱炭素に向けての具体的な課題や中小企業の取組などについてご講演いただきました。後半、丸田氏から、水素エネルギーに焦点をあて、世界の水素戦略・ロードマップや、国内の関連政策を踏まえた、新しいエネルギー源としての水素の特徴や安全対策の必要性、将来的な低炭素水素への期待などについて解説いただきました。

講演2では、株式会社ネットス 国際部リーダー 田中氏が、特許情報と特許調査の手法について説明しました。特許調査の重要性や調査の種類、特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）を活用した検索方法について、特許分類方法や注意して閲覧すべき箇所、キーワード検索を行う際のポイントなどを解説いただきました。加えて、グリーン・トランスフォーメーション（GX）の関連技術を検索する際に役立つ技術区分表の紹介と共に、J-PlatPatの操作実演を行いました。最後に福井県から事業や施策の紹介を行いました。

(文責：セミナー事務局)

### 【開催概要】

日時：令和5年11月13日（月） 14時00分～16時15分

方式：リアル・オンラインハイブリッド開催（Microsoft Teamsを利用）

現地・配信会場：AOSSA福井市地域交流プラザ研修室607（福井市手寄1丁目4番1号）

構成：

〔開会挨拶〕 近畿経済産業局 地域経済部産業技術課 知的財産室

〔講演1〕 『カーボンニュートラル最前線 –入門知識と水素エネルギーの利用事例–』

講師：株式会社テクノバ 研究部 研究第3グループ

上級主席研究員 丸田 昭輝 氏 グループ長 藤本 峰雄 氏

〔講演2〕 『特許検索セミナー&プチ体験 –分類とキーワードで調べてみたいGX最新技術–』

講師：株式会社ネットス 国際部リーダー 田中 志帆里 氏

〔事業案内〕 福井県 産業労働部 産業技術課 新技術支援室 主事 伊藤 淳一 氏

セミナー風景：



株式会社テクノバ 研究部 研究第3グループ グループ長  
藤本 峰雄 氏 講演

グリーン成長戦略（2021年6月）：水素需要改訂 TECHNNOVA

- 水素の潜在需要は2030年に最大300万トン（新規需要分は100万トン）
- 水素供給コスト
  - 2030年：30円/Nm<sup>3</sup>（現在の販売価格の1/3以下）
  - 2050年：20円/Nm<sup>3</sup>以下（水素発電コストはガス火力以下）
- 水素需要（既存需要200万トン含む）
  - 2030年：最大300万トン = 既存需要200万トン + 新規需要100万トン\*  
うちグリーン水素（化石燃料 + CCUS、再エネ水素）は約42万トン以上（※うち50万トンはアンモニアとして輸入）
  - 2050年：2,000万トン程度
    - 水素発電タービン：先行して市場を立ち上げ、アジア等に輸出（潜在国内需要約500~1,000万トン/年）
    - FCトラック：世界と同時に国内市場を立ち上げ、各国にも輸出（潜在国内需要約600万トン/年）
    - 水素還元製鉄：世界に先駆けて技術を確認（潜在国内需要約700万トン/年）
    - 定置用燃料電池：更なる価値の深掘りと生産設備への投資支援により社会実装を推進
- 製造・輸送等
  - 水素運搬船等：世界に先駆け高効率化し、機器・技術等を輸出
  - 水電解装置：再エネが安い海外市場に輸出し、その後国内導入

出所：経済産業省「2050年カーボンニュートラルを伴ったグリーン成長戦略」改訂版（2021年6月18日）  
https://www.meti.go.jp/press/2021/06/20210618005/20210618005-3.pdf November 2023 / © TECHNNOVA, INC. All Rights Reserved. 16/35



株式会社テクノバ 研究部 研究第3グループ 上級主席研究員  
丸田 昭輝 氏 講演



株式会社ネットス 国際部リーダー 田中 志帆里 氏 講演